



気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

《公式ホームページ》<http://kesennuma-shakyo.jp/>

《スマートフォン用QRコード》

スマホをお持ちの方は、こちら
からホームページを見ることが
できます。



本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail: karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail: moto-sha@kind.ocn.ne.jp



赤い羽根
共同募金

10月1日 ▶ 12月31日

ほんの小さなやさしさを 広げる大きな支援の輪

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国
一斉に始まります。今年も皆さまのあたたかい
ご支援とご協力をお願いいたします。



地域の福祉活動を応援してください

気仙沼市社会福祉協議会

令和2年度 賛助会員ご加入のお願い

気仙沼市社会福祉協議会は「地域の皆様と共に福祉をすすめる民間福祉団体」です。社会福祉協議会は、社会福祉法という法律により、市町村に一つ設置することとされていますが、その活動の財源は、皆様からの会費や寄附金、共同募金からの配分金を基本としています。本会では、一般会費の他、活動に賛同していただける法人・個人の方々に、賛助会員としてご協力をお願いし、地域福祉活動に必要な財源の確保に努めているところです。生活にお困りの方の相談対応や判断能力が不十分な方の相談と生活支援、地域福祉の人材育成を目的にしたボランティア養成講座の開催や研修会の実施、地域懇談会の開催等、地域福祉の推進に向けた様々な取り組みのほか、大規模災害時には、災害ボランティアセンターを設置することとしています。また、会費の一部につきま

しては、皆様の身近な地区社協の活動費として地域に還元し、敬老行事や歳末の慰問金、見守り活動、各地区で活動されている福祉団体や子供たちの活動への助成など、多様な事業に使われております。

このように皆様方からいただいた会費は、全市的な福祉活動と、より身近な地域福祉活動の両方を応援できる財源として活用されております。つきましては、本会の活動趣旨にご賛同いただき、賛助会員・特別賛助会員へのご加入について、市民の皆様への温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、本会では新会員も随時募集しております。ご加入についてお問い合わせは、

■ 賛助会員	
個人	年額(1口) 一、〇〇〇円
法人	年額(1口) 一〇、〇〇〇円
個人	年額(1口) 五、〇〇〇円

※社協会費については、皆様のご協力できる範囲でお願いするものであり、加入を強制するものではありません。

令和元年度 特別賛助会員

本会の活動趣旨に賛同し、特別賛助会員としてご加入いただいた方々をご紹介します。
ご協力いただき大変ありがとうございました。

(株) 東北安田様	(株) 気仙沼漁業協同組合様
(株) 気仙沼青果物流通市場様	(株) カネダイ様
(株) 丸和様	(株) オートショップヨコタ様
(株) オーシャンコネクト様	笠沼 玲子様
ヨネキ商店様	笠沼 勇一様
(株) 熊勝電気様	斉藤 國夫様
創価学会気仙沼文化会館様	(株) 高橋住研様
(株) マルニ様	(株) 内海石油様
(株) クマケー建設様	(因) 移川哲仁会 三峰病院様
(有) 大上観光バス様	(株) 三陸新報社様
吉野 太一郎様	三陸印刷(株)様
猪狩 敏行様	気仙沼市森林組合様
横田 隆一様	(株) 坂口組様
小山 正男様	(株) カネモト畠山水産様
補陀寺 千葉 裕一様	(株) 追分商店様
佐藤 直樹様	気仙沼清掃事業協業組合様
北野 神社様	気仙沼窯業(株)様
(株) ミナトタクシー様	菅原自動車(株)様
(株) 勝正商店様	(有) 熊吉建設様
尾形 公様	気仙沼管工業協同組合様
気仙沼信用金庫様	(株) 丸沖建設様
気仙沼市金融協会様	(株) 明海荘様
(株) 横田屋本店様	おおしまハーティケアセンター様
森田 医院様	(有) 光自動車硝子販売気仙沼様
(株) 気仙沼商会様	(株) 藤田鉄工所様
あさひ 鮎様	(有) 宮手舗装工業様
(有) いちまる様	みうらボディー様
(株) 小野良組様	(株) 芳賀自動車様
気仙沼プラザホテル様	



気仙沼市社協

敬老作文 最優秀賞

かぞくがいっぱい

松岩小学校一年 齋藤一咲

わたしは6にんかぞくです。がつくつたとれたてのやさいまえはおとうさん、おかあさんとわたしの3にんでした。いまはひっこしをして、おじいちゃんおばあちゃん、ひいおばあちゃんの6にんかぞくになりました。

おばあちゃんはとてもりょうりがじょうずです。わたしはおばあちゃんがつくるハンバーグとポテトサラダが大好きです。わたしもやさいかわをむいたり、じゃがいもをつぶしたりおてつたいをします。わたしもりょうりがじょうずになりたいです。

おじいちゃんはおこめとやさいをつくっています。あさはやくからおそくまではたらいっています。にがてなやさいもあるけれど、おじいちゃん

気仙沼市社協では、九月十日に敬老作文コンクール審査会を開催しました。

市内の小学校一年生から六年生を対象に作品を募集。今年は四十六作品の応募がありました。審査の結果、最優秀賞に六編、優秀賞に十七編の作品が選ばれました。今号では、最優秀賞作品をご紹介します。

らったり、あそんでもらった ほうがたのしいです。りするから、いまのかぞくの

はたらきもの おばあちゃん

大島小学校二年 小野寺 美海

わたしのおばあちゃんは、

くぐつてはしります。

大しまきせんでしたらいいます。大しま大はしができてから、フェリーのうんこうは、おわつてしまいました。かわりに、クルーズさんの「ファンタジー」のうんこうがはじまりました。

「どうぞ。」

「ファンタジー」というのは、気せんぬまのうみをはしるかんこうせんです。ゴールデンウィークや夏休みに、おきやくさんをのせて、はしの下を

おばあちゃんは、そのふね

でガイドもしています。大しま大はしのこと、みなとに入ってくるふねのこと、気せんぬまわんおうだんきょうのことなど、ふねから見えるけしきについて、いろいろなことを教えてくれます。

わたしは、おばあちゃんのはたらいているすがたを見て（すごいなあ。）

と思いました。わたしも大人になったら、てきぱきとはたらくことのできる人になりたいなと思いました。

「ファンタジー」には、いろいろなおきやくさんがのつてきて、ウミネコにかっぱえびせんをやったり、きれいなけしきを見たりしているそうです。おばあちゃんは、きつと、大いそがしではたらいっていることでしょう。

おばあちゃん、おしごとがらばつてね。大しまのことをみんなにたくさん教えてね。わたしも、また、のりに行くので、ソフトクリームをごちそうしてね。

ばあば見ていてね!

鹿折小学校三年 後藤 悠

悠

ぼくのばあばが亡くなって
一年がたとうとしています。
ぼくが年中の時、ばあばが病
気にかかったと聞いたのは、
ばあばが亡くなってからでし
た。ぼくとお兄ちゃんに心配
をかけさせたくないからと、
だまっていたそうです。けれ
ども、ばあばがどんどんやせ
てきたので、ぼくは、なんと
なくばあばの体調が良くない
ことに気付いていました。そ
れからしばらくして、ばあば
が亡くなりました。

「ばあば、ばあばとは八年し
かいっしょにいられなかった
ね。本当はもつといっしょに
いたかったよ。亡くなった時
は、心にぽかっと穴が開いた
気分です。でもかなしかった
です。けれども、ぼくは勉強
もラグビーもがんばるよ。天
国で見ていてね! ずっとずつ
とわすれないよ。」

それらを思い出すと、ばあ
ばに会いたくなり、そのたび
にかなしくなります。その時
は、ばあばが写っている写真
やDVDを見て探します。写
真の中には、ばあばがぼくを
だっこしている写真がありま
す。それを見ると安心します。
ぼくが赤ちゃんのころ、ばあ
ばがだっこをすると、すぐに
泣き止むことを、りよう親か
ら聞きました。もちろん、ぼ
くが赤ちゃんのころから大す
きだったこともです。だから、
その写真を見ると安心するの
だと思います。

今では、もうつたえること
はできませんが、ばあばがい
つも見守ってくれていること
をしんじて、毎日を元気にす
ごしたいです。

ばあばは家族の行事をとて
も大切にしてくれていました。
家族のたん生日はわすれずに
お祝いしてくれました。お盆
には、ばあばが『ぼたもち』
を作ってくれました。とても



優秀賞

- おばあちゃんは、まほうつかい 九条小一年 鈴木 天柵
- なかよしおじいちゃんおばあちゃん 新城小一年 永野 凜夢
- ぼくのおじいちゃん 中井小二年 小野寺 蓮
- 大すきなびいちゃん 松岩小二年 畠山 咲愛
- おふねのじじ、早く帰ってきてね 中井小二年 小松 陽斗
- じまんのじいちゃんとはあちゃん 津谷小二年 米倉 颯哉
- じいじとわたし 面瀬小三年 福田 帆乃花
- ぴい・じい・ばあ長生き大作戦 中井小三年 千葉 結翔
- わたしのおじいちゃんとおばあちゃん 松岩小四年 川村 莉蘭
- ぼくのびっぴ 面瀬小四年 内海 絆里
- 感しやの気持ちこめて 唐桑小四年 三浦 夏那
- 天国のおじいちゃん 松岩小五年 佐々木 修人
- おばあちゃんと天国のおじいちゃん 面瀬小五年 齋藤 心美
- ぼくの目標の人 中井小五年 小原 陽向
- ぼくのおばあちゃん、おじいちゃん 松岩小六年 小野寺 爽
- ひいおばあちゃんを助けたい支えたい 大島小六年 小松 流華
- ずっと仲良しでいてね 唐桑小六年 神谷 光紅



天国にいるひいおばあちゃんへ

中井小学校四年 小山 鈴

わたしのひいおばあちゃんが、先月、九十八才で天国に行きました。とてもかなしく、火そうの時は、とくに泣きました。かなしくて、かなしくて、なみだが止まりませんでした。こんな気持ちには、生まれて初めてです。

くれました。最後まで強くてやさしいひいおばあちゃんが好きでした。

おそうしきが終わって、ひいおばあちゃんのことを思い返すと、いっしょにすごした十年がどんなに温かく、かけがえのないものだったのかということに気づきました。たとえば、ひいおばあちゃん

は、九十八才でしたが、何でも一人でできて、ずっとわたしといっしょにくらしていました。それがある朝、部屋で気を失って、救急車で、運ばれたのです。病院でけんさをしてもらった結果、おなかの大動

脈が、いっばいわたしに伝えてくれました。そして、わたしがひいおばあちゃんのお手伝いをしたこともあり、

とわたしたちの手をにぎって帰るからね。」

「れいちゃん。」

と、

「はい、ちょっと待って。」

と言った部屋に行くのが日じようでした。お茶をいれてきてとか、カーテンを閉めてとか、かんたんなおねがいばかりだったけど、やってあげるとひいおばあちゃんは、

「ありがとう。ありがとう。本当にいいまごだあ。」

ととてもよろこんでくれたし、そんなひいおばあちゃんを見てわたしもうれしかったのです。

もうひいおばあちゃんに名前をよばれることもほめられることもないけれど、毎朝ぶつだんのひいおばあちゃんにお茶とお水をとどけるのは、かわらずわたしの係です。お手伝いをするわたしをきくと天国から見てもよるこんでくれていると思います。時々わすれることもあるけれど、その時はゆるしてくれるといいな。

天国にいるひいおばあちゃんへ。今までありがとう。大好きだよ。

令和2年度敬老作文講評

市社協では、敬老の日を迎えるに当たって、児童が高齢者に対する理解を深めながら敬老の心を培うことを目的とした敬老作文コンクールを行いました。

市内13の小中学校より46点のご応募を頂き、元教員、福祉関係者などの審査員9名により厳正なる審査を行い、最優秀賞6点、優秀賞17点が選ばれました。



【講評】

1・2年生…心のこもった作文ばかり。作文にしてもらったじいちゃん、ばあちゃんは嬉しいと思う。じいちゃん、ばあちゃんの行動をよく見ていて、その様子をしっかりと文章にしている。

3・4年生…3・4年生ともに、きちんとまとめられた作品が多かった。亡くなった祖父母の思い出と自分の決意をきちんと表現している印象的な作品が両学年ともに見られた。また、祖父母以外のお年寄りとのエピソードや工夫された題名の作品も多く見られた。その他、会話が豊富な作品もあり、適宜、会話を取り入れることでさらに魅力的な作品になるものと感じた。

5・6年生…コロナがあったからこそ見えてきた家族の良さや、祖父母の死を通して人間が生きていくことの大切さ、家族が一つになって温かい目で祖父母を見つめ、助け合っている姿をうまく表現している。

来年もまた、心温まる多くの作品と出会うことを楽しみにしています。



わたしのおじいちゃん

階上小学校五年 土居 心優

わたしは、おじいちゃんのことを「すごい人」だと思っています。なぜなら、自分の体を自由に動かすことができなくても、あきらめずにがんばっているからです。おじいちゃんは、いつもにこにこ笑顔で私に接してくれます。

わたしのおじいちゃんは、数年前まで、山で木を切る仕事をしていました。大きな木を切ったりおしたり、木の枝を片付けたりして、山を整えてきたのです。ところが、わたしが二年生の冬に、おじいちゃんにとって大きな出来事が起こってしまったのです。

その時、木の下で枝を片付けていたおじいちゃんの頭の上に、上から落ちてきた木が当たり、頭や首、足に大けがをしてしまいました。おじい

ちゃんは救急ヘリで運ばれ、緊急手術は成功しましたが、ねたきりの状態になってしまいました。

わたしは、そんなおじいちゃんの姿を見て、受け入れることができませんでした。

(昨日までは、とても元気だったのに...)

(どうして、こんなことに...)

と、悲しい気持ちになるばかりでした。お母さんも、これまでの仕事をやめ、早く家に帰ってこられる仕事に変えました。おばあちゃんも、おじいちゃんのお世話を一生けんめいがんばっています。おじいちゃんがづらい思いをしてがんばっているのだから、みんなできつしよにがんばろうという気持ちになっているのです。

しかし、がんばり屋のおじいちゃんできえ、がまんできずに泣いてしまうことや家族の悪口を言うこともあります。そんな時は、

(いっぱいがんばってるおじいちゃんだから、おさえていた分、がまんしきれなくなつたんだ)

と思うようにしています。どんなおじいちゃんでも、がんばっていることにちがいはありません。必死に生きていくうとしている姿で「すごい人」であることを感じさせられるのです。

現在は、ホームヘルパーさんやデイサービスなどが充実しているので、そういった社会の仕組みを利用することで、おじいちゃんも家族もとても助かっています。おじいちゃんにも、家族にも心を休める時間が必要です。家族みんなで、これから先も仲良く力を合わせて生活していくために

は、家族はもちろんです。おじいちゃん、これから多くの人の力を借りることも大切です。家族のために一生けんめい働いてくれていたおじいちゃんのために、今度は自分たちが力を貸す番です。

おじいちゃん、これからも元気で長生きしてね。わたしも、学校の勉強や家でのお手伝いもがんばるからね。家族みんなできつしよにがんばっていいこうね。

上地区
社協

気分も快晴「青空喫茶」を開催しました

上地区社会福祉協議会では、移動販売車が来る時間に合わせ、駅前コミュニティセンター駐車場にテントを張り小さな喫茶を開いています。

コロナ禍で外出が制限され、それによって社会参加や交わる機会の減少など生活課題への気づきから「密を避けて外でやってみよう」と活動が始まりました。

参加者からは、「目で見て食品を買えるのがうれしいわ」「久しぶりでお話ししたわ」など、皆さん楽しそうです。

青空喫茶のスタッフからは、「青空喫茶は、お散歩(運動)しながら集まり、雑談の中で日頃の生活の様子(食生活)など、住民の方々同士の情報交換やスタッフからの情報提供ができます。少しでもフレイル(虚弱状態)予防につながると思います。」と伺いました。今後は月1回開催するそうです。





ありがとうぴいばあちゃん

九条小学校六年 千葉 歩乃花

私のぴいばあちゃんは五月七日に九十四才で亡くなりました。去年の十月に足をこっせつして入院していたので十一月にお母さんと二人で山梨までおみまいに行きました。

たときは、人が亡くなるって何だろうと不思議でした。今まで亡くなった人を見たことがなかったからです。

お母さんもばあちゃんが大好きなので泣いていたけど私は見るまで信じられませんでした。山梨に行って、やせてしまったばあちゃんを見たときは涙が止まらなかったです。

元気だったばあちゃんがねているように亡くなっているのが辛かったです。

私が生まれてから毎年山梨に会いに行くのが楽しみで、ばあちゃんが笑顔でおしゃべりをするのが大好きでした。

二十年前にびいじいちゃん、びいばあちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、お母さんが亡くなってから一人で住んでいたので、さみしくないと聞くと「みんなが来てくれるから大丈夫だよ」来年もまた来よう」と言っていました。

ばあちゃんといっしょにいと元気で笑っていることが幸せなんだということ、いろいろなことにがんばろうということ、何を教えてもらいました。

ばあちゃん、チーコ、今まで本当にありがとう。これからもずっと大好きだよ。

ね、空からずっと見守っているね。苦しいこと、うれしいことがあったら空を見るから私に元気を下さい。

今、生きていること、命の大切さをすごく感じました。これから大きくなっていく中で大変なこともたくさんあ

ていってもすわっているところ、にいないのが、とても悲しかったけど、不思議とばあちゃん、おじいちゃん、おとうさん、お母さんがいるような感じがしました。

ね、空からずっと見守っているね。苦しいこと、うれしいことがあったら空を見るから私に元気を下さい。



赤い羽根 だより

第33号
令和2年



社会福祉法人 宮城県共同募金会

(発行) 仙台市若林区新寺一丁目4番28号
TEL 022-292-5001
FAX 022-292-5002
URL: <http://www.akaihane-miyagi.or.jp/>



皆さまの温かい善意に支えられ「赤い羽根募金運動」は、
今年も10月1日から全国一斉にスタートします。

～ほんの小さなやさしさが広がる大きな支援の輪～

令和2年度 共同募金運動目標額

総額

351,259,000 円

内訳

赤い羽根募金

270,382,000 円

県域配分目標額179,513,870円は、県内の
社会福祉施設等の整備や、県域で活動する
NPO等への助成として活用され
ます。

また、市町村域配分目標額
90,868,130円は、皆さまが
お住まいの身近な地域での福
祉事業に活用されます。

歳末たすけあい募金

72,877,000 円

新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々
が安心して暮らせることができるよう、見舞金や地域
の見守り活動等に活用されます。

NHK歳末たすけあい募金

8,000,000 円

福祉施設や団体等に対する、車両整備や年末年始の
行事費、児童養護施設等に入所する児童への普通自
動車運転免許取得支援に活用されます。

「共同募金」について

赤い羽根共同募金は、民間の運動として1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとして
スタートしました。当初は戦後復興の一助として、福祉施設を中心に資金支援する活動としての
機能を果たしてきました。

その後、「社会福祉事業法(平成12年社会福祉法に改正)」のもと、「民間の社会福祉の推進」に
向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

そして70年以上たった今、社会が大きく変化する中で、近年の取り組みとして、さまざまな地域
福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する事業や、市民のやさしさや思いやりを届ける
住民主体の運動として推進しています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

あなたは一人じゃない。



赤い羽根共同募金

ポスターモデル: 桜井日奈子さん

ナビゲーター/赤羽ファミリー

ありがとうメッセージ

「令和元年度赤い羽根共同募金の助成を受けた施設・団体よりたくさんのありがとうメッセージが届いています！」

社会福祉法人 善き牧者会 児童養護施設 小百合園 (仙台市)

助成金を活用し車両整備を行いました。子どもたちからは、「ピカピカの車に乗って遠くまで行ってみたいな〜」、「ドアが自動でオープン、お嬢様になった気分！」など喜びの声があがっています。共同募金会へ寄付いただいた皆さま、本当にありがとうございます。



社会福祉法人 幸生会 寺岡すいせんこども園 (仙台市)

3才より小さいお友達が遊ぶお庭には、遊具がなくてちょっぴりさびしい状態だったので、屋外遊具(きょうりゅうのすべり台)を整備しました。みんなで名付けたきょうりゅうの名前は「りゅうたん」。お外で遊ぶのが毎日楽しくなりました。ありがとうございます。



一般社団法人 かもみ〜る (気仙沼市)

プロジェクターとスクリーンを整備し、当事業所を利用している障がい者の皆さんが、作業内容の説明や興味のあるニュース等を仲間と一緒に見えています。繰り返し見ることができるし、見やすいのでうれしいです。感謝申し上げます。



特集

「世の中の、誰もがしんどい今こそ、そのチカラを発揮するときです！」

毎年各地で起こる大規模な災害、そして世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症拡大など、私たちを取り巻く社会環境に大きな影響を及ぼしています。そのような中赤い羽根共同募金は、被災地支援や日常生活に困難を抱える方々を支援する団体を支えています！

「令和元年東日本台風災害 ボランティアセンターを支援！」

昨年9月に発生した台風19号により、本県でも甚大な被害を受けました。共同募金会では、被災地での災害ボランティアセンターの運営を支援するため、毎年、募金総額の3%を災害等準備金として積み立て、大規模な災害が発生した場合には、都道府県域を超えて全国の共同募金会が拠出しあい、被災地で立ち上がる災害ボランティアセンターの運営を支援しています。宮城県には全国から、丸森町や大郷町をはじめ16市町の災害ボランティアセンター等へ44,533,746円が支援されています。



「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援活動応援 全国キャンペーン」を協働実施！

新型コロナウイルス感染拡大、及び緊急事態宣言等に端を発し、その後の防止対策や経済活動の停滞に伴う影響は、子どもやひとり親家庭など弱い立場の人々を支援している団体にも及んでいます。子ども食堂や学習支援等を行っていた団体は、コロナウイルス感染拡大の影響により活動の制限や機会を失い、資金不足に直面し緊急な支援を必要としています。8月末現在、宮城県共募、及び中央共募から県内26団体の活動に対し、11,460,000円が緊急支援され活用されています。



みさとひまわり食堂の皆さま



令和元年度 共同募金運動結果について



昨年もたくさんの
募金が寄せられ
たんだね!

赤い羽根募金

301,335,879円

県 域 179,409,267円
市町村域 121,926,612円

歳末たすけあい募金

79,063,039円

地域歳末 72,130,947円
NHK歳末 6,932,092円

総 計 **380,398,918円**

令和元年度 収入支出決算報告書

宮城県共同募金会の令和元年度決算をご報告いたします。皆さまからお寄せいただいた寄付金は、令和2年度に社会福祉施設や社会福祉団体、そして社会福祉協議会等が行う地域の福祉活動など様々な事業に使われます。決算時には、この事業費はいったん「未交付配分金」として計上され、翌年度すみやかに実施団体へ送金されます。

■貸借対照表

令和2年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	463,376,923	流動負債	280,353,864
現金預金	457,552,383	事業未払金	184,212
事業未収金	5,734,000	その他の未払金	250,740
未収金	9,600	未交付配分金※1	249,575,420
立替金	80,440	未交付災害義援金※2	16,710,906
前払金	500	預り金	1,188,809
前払費用	0	賞与引当金	1,443,777
固定資産	51,899,186	災害等準備金	11,000,000
基本財産	35,835,200	固定負債	11,617,580
土地	12,200,000	退職給付引当金	11,617,580
建物	20,635,200	負債の部合計	291,971,444
特定預金	3,000,000	純資産の部	
		基本金	3,000,000
その他の固定資産	16,063,986	第1号基本金	3,000,000
建物	441,000	国庫補助金等特別積立金	
車両運搬具	2	その他の積立金	4,000,000
器具及び備品	5,404	難病支援積立基金	4,000,000
退職給付引当金資産	11,617,580	次期繰越活動増減差額	216,304,665
難病支援基金積立資産	4,000,000	(うち当期活動増減差額)	29,911,910
		純資産の部合計	223,304,665
資産の部合計	515,276,109	負債及び純資産の部合計	515,276,109

※1 共同募金は集まった募金の翌年度に配分される仕組みです。

配分団体については、本会の配分委員会が厳正な審査によって決定されます。この決定された配分金(事業費)を、「未交付配分金」に計上。翌年度に社会福祉等の団体へ配分され、社会福祉の推進に役立てられています。

※2 2年度末に全国から寄せられた台風19号災害義援金です。決算時、「未交付災害義援金」として計上します。翌年度4月に全額を宮城県へ送金済みです。

募金の使い道について

1. 県域募金

① 社会福祉施設整備事業 (車両、施設の修繕、備品購入)	10件	8,480,000円
② 社会福祉団体支援事業	9件	3,500,000円
③ 子育て支援事業	2件	340,000円
④ 安全生活支援事業	132件	22,440,000円
⑤ 住民力・地域力・福祉力を 高める支援事業	163件	8,706,000円
⑥ みやぎチャレンジプロジェクト	40件	53,503,868円
⑦ 自立サポートハウス助成事業	1件	2,300,000円
⑧ みやぎ子ども食堂支援事業	1件	2,000,000円
⑨ 難病救済活動支援事業	1件	350,000円
⑩ 児童養護施設自立支援事業	7件	1,300,000円
⑪ 災害準備金積立	-	11,000,000円
⑫ 小規模災害支援金	1件	4,000,000円
⑬ 奉仕活動推進費	-	13,584,076円
⑭ 次年度運動経費	-	47,905,323円
合 計	367件	179,409,267円

2. 市町村域募金

① 配食サービス等 高齢者支援事業	76件	19,508,257円
② 児童・青少年の 健全育成支援事業	73件	7,925,229円
③ 障害児・者の 社会参加支援事業	60件	10,851,468円
④ サロン活動等 住民全般支援事業	254件	74,955,989円
⑤ 奉仕活動推進費	-	8,685,669円
合 計	463件	121,926,612円

3. 地域歳末たすけあい募金

① 配食サービス等 高齢者支援事業	90件	32,458,926円
② 児童・青少年の 健全育成支援事業	54件	6,984,289円
③ 障害児・者の 社会参加支援事業	29件	3,831,724円
④ 課題を抱える人の支援等 住民全般支援事業	90件	26,465,351円
⑤ 奉仕活動推進費	-	1,331,549円
⑥ 次年度運動準備金	-	1,059,108円
合 計	263件	72,130,947円

4. NHK歳末たすけあい募金

① 車両整備事業	2件	2,940,000円
② 施設・団体の年末年始 の行事費	46件	1,370,000円
③ 児童養護施設等普通自動 車免許取得支援事業	13件	1,950,000円
④ 奉仕活動推進費	-	393,445円
合 計	61件	6,653,445円

※278,647円は次年度繰越金となります。



詳しい募金の使い道、配分先の詳細については
本会ホームページをご覧ください。

HPアドレス <http://www.akaihane-miyagi.or.jp/>





トピックス



仙台建設業協会加盟81社に、募金箱設置のご協力を頂きました！

一般社団法人仙台建設業協会（会長 深松努）様のご協力により、加盟81社に募金箱設置のご協力を頂くことになり、6月18日（木）には、仙台建設業協会 深松会長（右）、宮城県共同募金会 本木会長（左）の両名による記者発表が行われました。社会環境の悪化により、日常生活に困難を抱える家族と子どもの支援活動に役立たせていただきます。ご協力に感謝申し上げます。



アサヒ飲料株式会社より東北6県の「こども食堂」へ60万円を助成！

今年度も、アサヒ飲料株式会社（本社東京都、社長 岸上克彦）東北支社様より、東北6県の「こども食堂」を運営する団体へ60万円のご寄付をいただきました。本県では2団体（計10万円）に助成され、食材や調理器具を購入する費用、会場を借り上げる費用に活用されます。あわせて、同社からは、助成先に対し、「三ツ矢サイダー」と「カルピスウォーター」が寄贈されています。継続したご支援に感謝申し上げます。



「むすび丸ピンバッジ募金」により被災地の子どもたちへ絵本を贈りました！！

沿岸被災地で活動する団体・保育所に対し、絵本整備助成を行いました。贈呈式には、継続のご支援をいただいております、三菱電機ライフサービス株式会社（本社東京都、社長 船尾英司）仙台支社様から、小磯仁史支社長様にもご臨席いただき、たくさんのお絵本を子どもたちにお届けしました。ご寄付いただいた皆さまに感謝申し上げます。



「みやぎチャレンジプロジェクト」がテーマ型募金において全国一の実績となりました！

地域での新たな資金循環のシステムとして、全国の都道府県共同募金会で事業推進が図られているテーマ型募金。本県では「社会課題解決みやぎチャレンジプロジェクト」として、令和元年度は40団体がエントリーし、2,765件、計35,696,868円が寄せられ、テーマ型募金として実績額が全国一となりました。ご寄付いただいた皆さまに感謝申し上げます。



「丸森町 赤い羽根募金箱をつくろうコンクール」表彰授与式が行われました。

丸森町の小学生を対象とした「赤い羽根募金箱をつくろうコンクール」の表彰式が、さる2月23日（日・祝日）に仙台市青葉区のホテルメトロポリタン仙台で行われました。本来は、昨年10月末に丸森町で行う予定でしたが、台風19号の豪雨被害で延期となっていました。当日は児童とご家族ら約30名が出席し、待ちわびた賞状を受け取った児童はみんな笑顔でした。



第8弾「むすび丸ピンバッジ募金」でみやぎの子ども食堂を応援しよう！

今年も仙台・宮城観光キャラクター「むすび丸」とのコラボピンバッジを作製し、「むすび丸ピンバッジ募金」を行います。この募金は制作費を除き、宮城県内で子ども食堂等を運営する団体への助成に活用します。10月末より頒布いたしますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

※イラストはイメージです。実物と多少異なります。



～気軽に募金活動に参加できる新しい仕組み～ ハートフルベンダーの設置者を募集しています

自動販売機の形をした募金箱で飲み物を購入すると、飲料メーカーから共同募金委員会へ募金され、また、募金ボタンも搭載されていますので直接募金もできる仕組みになっています。

気仙沼市内では現在22か所に設置されておりますが、引き続きこの自動販売機の新規設置先を募集しています。興味がある方は是非、気仙沼市共同募金委員会（電話22-0709）までご連絡ください。





赤い羽根共同募金運動がスタートします!

赤い羽根
共同募金

みんなのまちをみんなでよくするために

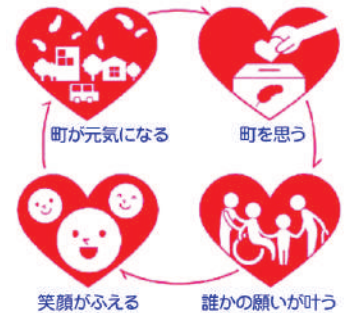
10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まります。今年も皆さまのあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

10月1日▶12月31日

令和2年度の赤い羽根募金目標額は8,810,000円です

地域のコミュニティづくりの大きな支えとなっています

共同募金は、だれもが安心して暮らせる「まちづくり」を進めるために必要な、住民団体やボランティア等による地域福祉活動を支援します。



令和元年度「赤い羽根募金」運動の実績報告

赤い羽根 募金総額

8,770,592円

内訳

毎戸募金	7,737,217円	街頭募金	552,900円
学校募金	86,932円	個人募金	51,748円
法人募金	4,210円	職域募金	16,882円
イベント募金	53,769円	その他	266,934円

市民の皆さまからたくさんの善意をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。令和元年度にお寄せいただいた赤い羽根募金額から、今年度は気仙沼市内の下記団体の事業や活動に活用されます。

【住民力・地域力・福祉力を高める支援事業配分】

団 体 名	配 分 内 容	配分額(円)
水梨キッズかふえ、崎浜1区復興まちづくり協議会、唐桑町まちづくり協議会、唐桑地区手をつなぐ育成会、唐桑観光ガイドの会、気仙沼大島deバスケットボール実行委員会、大島の自然を守る会、気仙沼市上地区社会福祉協議会	多様な生活課題や地域の課題解決に役立つ事業の一環として効果的・有効的に活用されるよう配分	510,000

【社会福祉施設配分】

団 体 名	配 分 内 容	配分額(円)
気仙沼第二保育所	施設の修繕に活用されるよう配分	800,000

【地域福祉活動配分】

団 体 名	配 分 内 容	配分額(円)
社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会	市社協だより、ホームページ運営、児童福祉施設等への歯ブラシ贈呈事業、火災見舞金贈呈事業に配分	3,277,802



赤い羽根共同募金

宮城県共同募金会
気仙沼市共同募金委員会

(☎22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

